ＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

えすぽわーる 新函館

12
December 2017

No. 184

道南を農す
大野地区 中川 揚平さん

特集 2017年を振り返って

JA新はこだて

道南を たがや 農す

北斗市 萩野

中川（なかがわ）　揚平（ようへい）さん

水稲	700a
軟白ねぎ	60a
長ねぎ	20a

揚平さん自身も温泉が好きで、2年に1回は家族で道内の温泉旅行に行くとのこと。「来年の冬には颯斗（はやと）くんも大きくなるので、家族でディズニーランドに行く予定です」と揚平さん。

自分の現状をはっきりと認識し 向上心を持って努力する農業者

自分の甘さを痛感し、猛勉強

中川揚平さんは高校卒業後、函館市内で接客業に従事。この時に奥さんの宏美（ひろみ）さんと知り合い、結婚。長女ひなたちゃんと次女さくらちゃんが産まれたころから就農することを考え始め、25歳の時に就農した。「接客業だと中々、家族との時間が取れなかったので、実家の農業を継ぐことを決めました」と当時を振り返る。

農業を継ぐことは考えていなかったため、農業経験がほとんど無く、就農してから同世代の仲間と比べて知識が無いことを実感。これではダメだと普及センターや仲間などから教えてもらいながら猛勉強した。「父がいるから大丈夫だと思っていた自分の甘さを痛感し、凄く危機感を感じた」と話す。

今年から、北斗市4Hクラブで会長を務めている揚平さん。「会長として皆を引っ張っていく感じではないが、仲間達が色々と助けてくれるので、感謝している」と話す。

葉っぱを確認して、病気がついていないか確認するとともに、防除するタイミングを見ているとのこと。時期に応じて防除はしているが目で見て確認するようにもしている。

冬場はカビが生えやすいので通気性を良くするためにハウスの換気をしているとのこと。また、白根の長さを見て、収穫しても良いか見極めるのも収穫時の注意点の一つ。

「皮むき作業の時には、軟白ねぎは白根が弱いので、あまり風に当てないように一瞬で皮をむくようにしています」と話す揚平さん。通年通して、5人で作業しているとのこと。

改良結果を実感し、やりがいに

露地での長ねぎ栽培を一人で任されてから3年目の今年は農薬を時期によって変えるなどして、昨年から改良も重ねたところ、病気も出ず、品質の良いものができていたが、9月に発生した台風により被害を受けてしまったとのこと。「最初の時とは違い、だんだん目に見えて良くなってきているので、やりがいを感じています」と話す。

また、今年からは宏美さんと二人で長ねぎの農薬散布作業を行っているとのこと。「仕事が終わり、子供たちを寝かしつけてから、二人で晩酌するのが楽しみ」と笑顔で話す。

今後については、今の品目を完璧に作れるようになることが目標とのこと。

その他には、一日の出荷箱数をもう少し多くできないか、作業効率なども考えながら模索している。

経営の安定に向けて、さらなる勉強の日々はこれからも続いていく。

えすぽわーる
NO.184／2017年12月号

CONTENTS

2 道南を農す
大野地区　中川　揚平さん
4 特集　2017年を振り返って
6 リーダーズボイス
森地区青年部
小原 三弘 部長
7 となりの農家さん
知　内　森永　裕貴さん
七　飯　成田　明美さん
8 トピックス
七飯支店女性部梅漬けパック詰め作業
知内支店女性部家族交流会　他
10 あぐりレッスン
11 JAグループ通信
12 インフォメーション
理事会報告
冬の貯金キャンペーン
13 当選者発表・読者の声　他
14 料理楽しくステップアップ!
もりもり青ネギのパスタ

イチオシの一品!

とまじゅ～

北斗市産のトマトを100%使用した、ぜいたくなトマトジュースです。

そのまま飲むだけでなく、料理に使用しても最適です。

1本　500ml　550円（税込）

お問い合わせ／あぐりへい屋
TEL: 0138-77-7779

特集 2017年を振り返って

2月 ふっくりんこ3年連続で特A獲得

ふっくりんこ

平成２８年度産米の食味ランキングが発表され、ふっくりんこが３年連続で最高ランクの「特A」を獲得しました。今後もイベントへの出店などによりＰＲ活動を行い、認知度向上に努めてまいります。

4月 新採用職員12名が入組

新採用職員１２名が新たな仲間として入組し、ＪＡの理念などを学んだほか、配属先などで自身の仕事について研修を行い、ＪＡ職員としての基礎を身につけ、各配属先で懸命に頑張っています。

上ノ国支店移転オープン ＪＡライナー稼動スタート

資材業務を主とした新・上ノ国支店がオープンしたほか、北海道信連と農林中央金庫の支援を受けて道内初となる移動金融車「ＪＡライナー」の稼動がスタートしました。

ふっくりんこあまざけ ピンク色販売

紅こうじを混ぜて着色しており、北海道新幹線開業１周年を祝して「紅白」などを表現したほか、桜をイメージして作られました。

第15回通常総代会 開催

４月１４日、北斗市のかなで～るで第１５回通常総代会が開催されました。総代４０１名による議決で、全１３議案と特別議決が原案通り可決されました。議事では過去最高の販売高３１１億円を達成したことが報告されました。

5月 第2回JAバンク北海道窓口セールスコンクール

優勝を含む参加した職員全員が入賞する快挙!

５月１３日、札幌市で「第２回ＪＡバンク北海道窓口セールスコンクール」が開催され、当ＪＡからは３名が「年金指定替部門」「純新規推進部門」に出場しました。審査の結果、「純新規推進部門」で七重浜支店の信太こずえ職員が優勝したほか、出場した職員全員が入賞するという快挙を成し遂げました。

6月 新執行体制が決定

会長理事　代表理事組合長　代表理事専務

畠山組合長が６月２２日付で北海道厚生連副会長に就任したことに伴い、同日に開催された第６回理事会において畠山良一会長、輪島桂組合長、田中猛一専務が選任され、就任しました。

濁川温泉市15年の歴史に幕

森町トマト生産振興協議会女性部は、多くの人から惜しまれながらも１５年続いた濁川温泉市の歴史に幕を下ろしました。

最後の営業日も販売が始まる前から長蛇の列ができていました。

8月 函館育ち ふっくりんこ蔵部ビール発売開始

８月２日から「ふっくりんこ」を使った地ビール「函館育ちふっくりんこ蔵部（くらぶ）ビール」が発売されました。

「ふっくりんこ」が持つ甘味も感じられ、どんな食材にも合う軽やかなビールに仕上がりました。

7月・8月 各地で夏まつりが開催

どの会場も新鮮な農畜産物や地元の農畜産物を使用した食べ物などを販売し、行列ができるほど人気を集めていました。その他にも、各種イベントなども行われ、多くの来場者で賑わっていました。

9月 2017北海道ホルスタインナショナルショウ

合併後初となる1等1席を受賞

９月２３、２４日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場で開かれた２０１７北海道ホルスタインナショナルショウで、函館市の松岡昭好さんが１２部（ジュニア３歳）で１等１席を受賞しました。当ＪＡとしても受賞するのは「合併後初の快挙」となりました。

9月・10月 台風18号・21号 管内に大きな爪跡を残す

９月９日、１０月１６日に発生した台風１８号・２１号の影響により、管内ではビニール破損、なびきや倒伏（水稲・長ねぎ・トマト）、落果（リンゴ）などの被害を及ぼし、大きな爪跡を残しました。

1年間「えすぽわーる」をご愛顧いただき、ありがとうございました。

2018年も引き続きよろしくお願い致します

連続インタビュー

リーダーsボイス

Leader's voice

地域のつながりが見直され、ますます重要になる昨今。地域を担う若きリーダーの皆さんに毎月インタビューします。

青年部での経験が未来を明るくする

ＪＡ新はこだて青年部／森地区青年部

小原（おばら）　三弘（みつひろ） 部長（37）

部員数：２０人　設立：昭和３０年２月

●特に力を入れている活動を教えて下さい。

「三業まつり」と「カップリングパーティー」の2つは特に力を入れています。

「三業まつり」には農業関係者以外の方も多く参加するので、即売会やイベントを通して、森町の農産物のＰＲを行っています。「カップリングパーティー」は花嫁確保を目的に毎年実施しており、結婚につながるなど成果も出ています。

●今後、青年部員に求めることは何ですか。

地区事業への参加率は高いですが、本体事業となると参加率が下がるので、もっと積極的に上部組織の活動にも関心を持って参加してほしいです。そこでしか得られない出会いや経験があり、いつか必ず自身のためになるときが来ると思うので、ともに切磋琢磨していきたいです。

●小原部長にとって青年部とはどんなところですか。

「仲間づくり」の場所です。交流することによって刺激を受けることも多くあり、「青年部に入ったからこそ、たくさん仲間が出来た」と強く感じます。この充実感を他の部員にも知ってほしいので、役員として、しっかりと伝えられるよう努めてまいります！

●部長に就任して良かったこと、大変だったことは。

他地区の役員と様々な話ができることで、自身の刺激にもなっています。

大変だったことは、一般部員からいきなり部長に就任したので、分からないことだらけの中でのスタートだったことです。少しずつ経験を積み、責任ある立場として、部員をまとめていきたいと思います。

今年開催された「三業まつり」の様子。青年部は重量当てゲームなどを実施し会場を盛り上げました!!

ギターが趣味で、「好きな曲を弾いているときが至福の時間です」と楽しそうに語ってくれた。

〈取材　本店 営農課　加藤　雄貴〉

となりの農家さん

～農家の現場へズームイン～

木古内

牛の管理を徹底して

森永（もりなが）　裕貴（ひろき）さん（33）　褐毛和種（はこだて和牛）

▲牛の管理をしている森永さん

木古内町大平地区の森永裕貴さんは、繁殖牛を飼育している。その他にも水稲、トマト等を作付している。

繁殖牛は現在親牛18頭・子牛10頭を飼育。今年は親牛の飼育数が増加し、子牛の飼育頭数も増加しているとのこと。「これからは、どんどん寒くなるので、子牛が病気にならないよう管理を徹底したい。また、一年を通して牛の発情を見逃さないよう心掛けたい」と話してくれた。

10月に熊本県の畜産農家へ2週間研修に行った森永さん。「初日、田んぼにトラックが出入りしているのを見ましたが、地元じゃ考えられない」と笑顔で語ってくれた。

〈取材　知内支店　藤澤　純一〉

七飯

多種多様な野菜に挑戦

成田（なりた）　明美（あけみ）さん（57）　ほうれん草

▲ほうれん草の出荷準備をする成田さん

七飯町中島地区で農業を営んでいる成田明美さんは、ほうれん草の収穫の真っ最中。9月末に播種をしたものが順調に生育し、11月中旬が収穫のピークとのこと。ハウス2棟を中心に、ほうれん草の他にも、スイスチャード、エゴマ、コリンキー、ターサイなどといった珍しい品目にも挑戦している。

営農上注意している点について「今まで色々な失敗がありました。毎日が勉強であり、今年はより小まめに生育観察を行いました」と話す。

今後については「まだまだ色々な品目・品種のものにチャレンジしていきたい」と笑顔で語った。

〈取材　七飯支店　花田　有希〉

えすぽわーる TOPICS トピックス

管内各地の旬な情報をお届けします。

パック詰め作業をする女性部員
七飯

色も味も最高の出来
七飯支店女性部 梅漬けパック詰め作業

七飯支店女性部は10月10日と11日の両日、同支店農産物加工施設で梅漬けのパック詰め作業を行った。

今年は、8月の低温により、例年と比べて小粒傾向となり、昨年よりも若干少ない690キロを仕込んだ。

女性部が作る「梅漬け」は、梅の風味とシソの香りがする昔ながらの懐かしい味で、ほどよいすっぱさと後から甘みも感じられるのが特徴。

杉村恵子部長は「今年は色も味も最高の出来栄え。梅漬けがキッカケで全道各地の女性部と交流する機会もできた。お客さんからは販売を待ち望む声なども頂くので、これからも頑張って作りたい」と話した。

完成した梅漬け

プレーを楽しむ参加者ら
知内

家族でパークゴルフを楽しむ
知内支店女性部 家族交流会

知内支店女性部は10月14日、知内町のパークゴルフ場で家族交流会を行い、部員を含め24名が参加した。

家族交流会は、女性部活動により家を空けることも多いことから、家族に対して日頃の感謝と女性部活動をより理解してもらうため、毎年開催している。

当日は晴天の中、一打一打に一喜一憂しながらパークゴルフを楽しんだほか、終了後には懇親会を開催し、家族交流もしていた。

バレイショ詰め放題をする買い物客
知内

日頃の感謝を込めて
直売所きこりろで収穫祭

木古内支店女性部直売所運営グループは10月21日、直売所「きこりろ」で今年1年の感謝を込めて収穫祭を開催した。

収穫祭では、町内で収穫されたバレイショやニンジン、ダイコンなどの新鮮な農産物が並んだほか、いもの塩煮の無料提供やバレイショとニンジンの詰め放題、千円以上購入で餅の詰め合わせが当たるくじが1回引けるイベントなども行った。来場者らは、いもの塩煮に喜んでおり、「おいしい」と言いながら食べていた。

抽選会当日の会場内の様子
七飯

最終営業日も盛況
函館支店女性部「湯川朝市」

函館支店女性部は10月28日、同支店横の倉庫前で開催していた、「湯川朝市」の今年の営業を終えた。

当日は、販売開始から多くの買い物客で賑わい、長ネギ、大根、トマト、小松菜、食用菊など用意された豊富な種類の農産物が次々と売れていった。

今年の営業を終え、鮫川初江子部長は「来年もたくさんの方々にご来場して頂けたら嬉しい。これからも新鮮な野菜を販売できるよう頑張っていきたい」と話した。

和やかな雰囲気で議論する参加者ら
青年部

PR方法などを議論
本店部課長との意見交換会

JA新はこだて青年部は10月20日、函館市で本店部課長との意見交換会を開いた。「JAのPR方法」と「儲かる農業を実現するには?」をテーマに議論を交わした。

「JAのPR方法」では、まつり事業や各地区の事業予定を記載した青年部のオリジナルカレンダーの作成について意見が挙がったほか、ラジオCMや他JAでネット動画投稿サイト「YouTube」を上手く活用しているところなどを参考にしてはどうかなどの意見が出た。

職員の説明を聞く生徒ら
七飯

地元の職場で勤労体験
七飯中学校 職場体験学習受け入れ

七飯町立七飯中学校の2年生2人は10月19日、七飯支店で職場体験学習を行った。

生徒らは、生産資材課で商品陳列やラベル貼りなどについて職員から教わりながら作業に取り組んだ。

2人は「通学で農協の前は通っていて、CMなどでも観て名前は知っていましたが、どのような仕事をしているのか分からず、気になったので職場体験先として選びました。力仕事が多く、大変な部分もあったが楽しく研修できました」と話した。

実際に操作しながら研修する職員
生産資材

業務処理を正確かつ迅速に
購買研修会

JA新はこだては10月18～19日の2日間、購買研修会を大野支店会議室で行い、本支店の購買業務を担当する職員12名が参加した。

研修会では、資材POSからのデータの取込方法や仕入入力の方法、共計とりまとめ管理に関する予約管理など、日常業務で特に使う項目について学んだ。

参加した職員からは、「普段、業務の中で使う研修内容だったので、勉強になった」などの声が聞かれた。

あぐりレッスン

渡島農業改良普及センター

稲作の省力・低コスト化に向けた取り組み

農業者の高齢化、農家戸数の減少により、１戸当たりの栽培面積が拡大しています。また、施設野菜を主とした稲作経営が多いため、作物間の労働競合が発生しており、稲作の省力・低コスト化技術の普及が課題となっています。

渡島管内では平成１２年より、北斗市・七飯町を中心に「直播栽培」の導入が始まり、平成２９年には渡島管内で５２戸、１６９ｈａまで拡大しています。

直播栽培の普及によって、小麦・大豆との田畑輪換、水稲育苗ハウスでの野菜生産による所得拡大が図られています。

現在は直播栽培を中心に、①田植えの際に株間を広げて、使用する育苗箱を削減することにより、省力・低コスト化を図る「疎植栽培」、②育苗箱１枚当たりのは種量を２～３倍に増やすことで、育苗日数を減らし、使用する育苗箱数を１／２、１／３に削減して省力・低コスト化を図る「密苗栽培」の導入が検討されているところです。

本年の８月１日には、道南米麦改良協会等主催の「道南地区水稲省力化栽培技術現地研修会」が開催され、は種機や移植機の説明、各技術の試験栽培ほ場を視察しました。「やっぱり直播は楽だな！」、「密苗なら取り組みやすいかもしれない！」など、多くの農業者に関心を持っていただけました。今回の研修会をきっかけに、今後の試験栽培に意欲的な農業者も見られ、稲作の省力・低コスト化技術の普及が、また一歩進みそうです。

普及センターでは、今後も引き続き、新たな省力化技術の普及はもちろんのこと、高品質安定生産に向けた技術的な支援も行っていきます。

また、夏季研修会に続き、冬季研修会も開催される予定です。来年以降、試験栽培を検討している方や、労働力やコストの低減を考えている農業者の方は、是非ご出席下さい。

上：密苗は種 (籾 380g)　下：慣行は種 (160g)

左：中苗 (は種後 25 日) 右：密苗 (は種後 10 日)

道南地区水稲省力化栽培技術現地研修会の様子

渡島農業改良普及センターのホームページ　http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/Osindex.htm

普及センター活動紹介、地域の動き・技術情報など、是非ご覧下さい！

JAグループ通信　コンサドーレサンクスマッチ特集号

毎月、JAグループ北海道の連合会・中央会の活動を紹介しております。この度、平成29年9月23日に北海道コンサドーレ札幌ホームゲーム（vsアルビレックス新潟戦）を『JAグループ北海道サンクスマッチ』として開催しましたので、会場での各取り組みをご紹介します。

＊サンクスマッチはJAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌の連携事業の一環として、道内農畜産物やJAの様々な事業・取組みを選手やサポーターに知ってもらう大切な機会に位置付けています。チームのJ1定着と、今後の更なる活躍を期待し、オフィシャルパートナーとして応援して参ります。

JA北海道中央会

JAグループ北海道関連のブースを、札幌ドームにて多数出展し、サポーターの皆さんには、ブースを回るスタンプラリーや抽選会を楽しんでもらいました。

食と農・JAの魅力を伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP（ジェイエイジャンプ）」のブースでは、インストールした方にてんさい糖（650g）をプレゼントし、大盛況となりました。

JA北海道信連

JAバンク北海道は、北海道農業やJAバンクに関するパネルを展示し、道内農畜産物やJAバンクの事業等をPRしました。また、このパネルを使って中学生以下の子供達を対象にクイズを出題し、先着400名の回答者に「フェイスタオル」等を配布しました。子供達は真剣にクイズに取組み、「食と農」・「JAバンク」について理解を深めてもらえたと思います

ホクレン

ホクレンは「収穫と勝利の喜びで一緒にはじけよう」と、来場者先着2000人に北海道産とうもろこし100%の「北海道ポップコーン（150g）」を配布した他「ホクレン大収穫祭」の告知及び全国発送のチラシを配布し、来場者へのPRを行いました。北海道コンサドーレ札幌の石井謙佑、キム・ミンテの両選手が応援に駆けつけ、配布を手伝うとともに、記念撮影や握手にも快く応じ、集まったサポーター達を喜ばせました。

JA共済連北海道

JA共済連北海道は、地域貢献活動の紹介チラシを作成し、粗品とあわせて配布することで、交通安全の呼びかけを行いました。

また、アンパンマンの撮影ブースとガチャガチャを設置し、小さいお子さまにも楽しんでいただき、大盛況となりました。1万7千人を超える来場者の皆さまにJA共済連の交通安全にかかる活動を知っていただくことができました。

JA北海道厚生連

JA北海道厚生連は、配置薬課より「野菜酵素青汁（トマトリコピン配合）」の配布を行い、JA配置薬のPRを実施しました。

ブースには、前選手も駆けつけ、多くのコンサドーレサポーターの皆様に集まっていただき大盛況となりました。

今後も、北海道コンサドーレ札幌の活躍を応援していきたいと思います。

理事会開催報告

第12回理事会議案（定例）

●日時／平成29年11月29日（水）10時30分～
●場所／北斗市総合分庁舎

報告事項

（1）職員の退職について
（2）理事者への貸付実行の報告について
（3）利益相反取引に係る包括承認貸付の実行報告について
（4）組合員の異動について
（5）委員会の開催について
（6）第3四半期のリスク管理方針に基づく総体的なリスク量管理について
（7）第3四半期の資金運用状況について
（8）平成29年度コンプライアンス・プログラムの実践状況について
（9）平成29年度収支見込（ＪＡ新はこだて10月末現在）について
（10）平成29年度収支見込（㈱新はこだて協同10月末現在）について
（11）平成29年度経営所得安定対策「畑作物の直接支払交付金（数量払）」の仮渡金について
（12）平成29年度賦課金の徴収状況について
（13）ハウスリース事業に係る平成29年度地域づくり推進事業の入札結果について
（14）森基幹支店トマト外観・内部品質選別機導入入替工事の入札結果について
（15）29年産米ライスターミナル受入状況について
（16）平成29年度企画管理・信用共済委員会視察研修の実施概要について

議案

第1号　ＪＡ全国監査機構期中監査結果について
第2号　理事者への貸付について
第3号　理事に対する平成29営農年度組合員勘定供給限度額の変更について
第4号　職員への冬期手当の支給について
第5号　組合員懇談会への提案事項について

新米を使用した「函館育ちふっくりんこ蔵部（くらぶ）ビール」販売開始

8月2日に発売された「函館育ちふっくりんこ蔵部ビール」の２０１７年産の新米を使用して作られたものが販売を開始しております。まだ、飲んでいない方はこの機会に、ぜひ飲んでみてください。

販売先／あぐりへい屋・Aコープ厚沢部店　ほか　内容量／330ml　価格／648円（税込）　お問合せ先／本店 米穀課　TEL／0138-84-8737

今月号の当選者　今月は13件の応募があり、厳正な抽選の結果、次の3名の方が当選となりました。

前回の答え　コハルビヨリ

クイズ当選者

おていちゃん さん
ミーちゃん さん
アブちゃん さん

読者の声　たくさんのご応募、ありがとうございます。

おていちゃんさん
今年の農作業もあとひとふんばり。みなさん、お疲れ様でした。

がっちゃんさん
「ゴボウのかき揚げ丼」、健康によさそうですね。

ミーちゃんさん
今年は雨が多くて仕事大変です。

ラッキーさん
赤かぶの千枚漬けおいしそう♡　次も楽しみにしています!

カズPさん
パズル、頭の体操で毎回楽しんでいます。

よるさん
毎月楽しみにしています。

アブちゃんさん
まるめ郎広場むずかしかった。2人で答えを出しましたよ。

りんりんさん
興味深い記事満載です。次回も楽しみにしています。

アッチャンさん
孫の結婚式でスカイツリーに登りました。とても高かったです。

クリリンさん
収穫の秋!実りの秋は農家への一年間のごほうび

サッちゃんさん
「えすぽわーるTOPICS」の記事が楽しそうで参加したくなりました。

ヤマちゃんさん
コラム「万一に備えようわが家の防災」は普段から気になっている事なので勉強になりました。

※今月は当選発表のみです。

えがほかーど
第184号
平成29年12月8日発行
発　行／新函館農業協同組合
〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
電話／0138-77-5555　FAX／0138-77-5566
ホームページ／http://www.ja-shinhakodate.jp/
編　集／企画室　印　刷／有限会社　三和印刷

料理楽しくステップアップ

「キッチン晴人」のオーナーシェフ
永井 智一（ながい ともかず）

「キッチン晴人」のオーナーシェフ。1975年茨城県水戸市生まれ。高校卒業後、都内のすし店で修業後、帰郷し懐石料理を学ぶ。2013年12月に畑とつながるをコンセプトとした「キッチン晴人」をオープンし、地元農産物を生かした料理を提供中!

もりもり青ネギのパスタ

point

パスタが固まってしまったときは、ゆで汁で調整してください。

材　料（2人分）

乾燥パスタ	160g
小ネギ	1把
EVオリーブ油	大さじ3
アンチョビフィレ	2枚
ニンニク	1片
たかの爪	1本
白ワイン	少々
塩・こしょう・しょうゆ	適宜

作　り　方

（1） フライパンにEVオリーブ油を入れ、つぶしたニンニク、種を取ったたかの爪、アンチョビフィレを入れ弱火にかけ、油に香りを移し火から下ろす。

（2） 塩（材料外）を入れた鍋の水を沸かしパスタを入れ、ゆで時間の1分前でざるにあげる（ゆで汁を1/2カップ取っておく）。

（3） 再び火にかけた（1）のフライパンに白ワインを振り、ゆで上がったパスタ・ゆで汁を入れ油を手早く絡め、塩・こしょう・しょうゆで味を整える。

（4） （3）を器に盛り付け、小口切りにした小ネギを上から掛けて出来上がり。

編集後記

今月号のトピックスで掲載している七飯支店女性部の梅漬けパック詰め作業の取材に行かせてもらいました。

女性部の皆さんは、仕事が終わって疲れているにも関わらず、慣れた手つきで次々とパック詰め作業をしていました。

取材の最後に味見をさせて頂きましたが、梅の酸味が最初にきたあと、口の中に甘味が広がり、今まで食べたことのない美味しさにビックリしました。

ご飯のお供として、購入してまた食べたいと思います。

（明）

facebookページ更新中！

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。

JA新はこだて facebook　検索

まるめ郎アルバム

大妻高校の創作弁当を買いに来ました!
ボリューム満点で美味しかったよ～

緊急時のご連絡先

※業務時間内（平日9時～17時）にはご契約の支店にご連絡ください。

お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
（JA共済事故受付センター）

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
（JA共済サポートセンター）

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
（JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター）

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
（三菱UFJニコス㈱盗難紛失受付センター）

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。